

海外レポート LONDON 2010 JULY

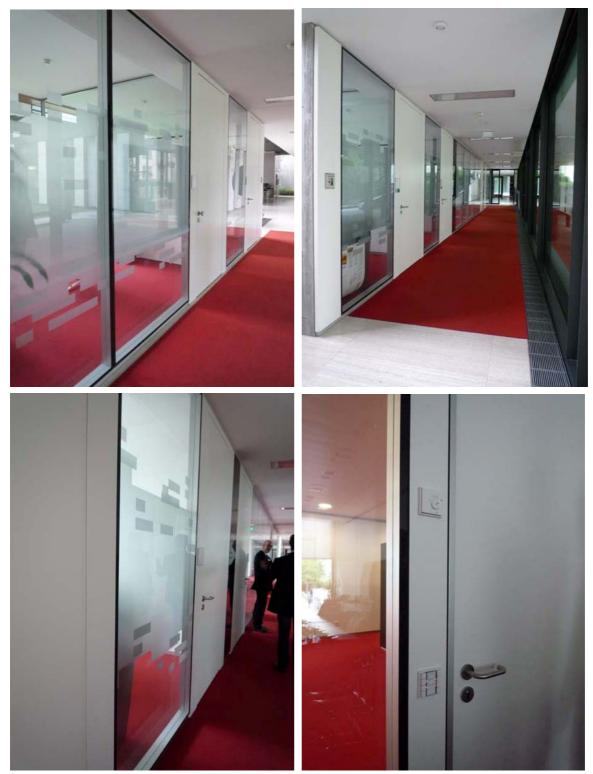
SOTOKO KATAYOSE

特纬	長: ドイツ、シュツッツガルド、物件見学	- BW 銀行	その2
1.	パーティションシステム	1	
2.	スタッフレストラン	2	
3.	グリーンルーフ	4	
4.	オーディトリアム	5	
5.	ディテール	7	

5月に引き続きシュツッツガルド。今回は前回取り上げたシステムパーティションのメーカーであるストラーレが手がけた物件見学で訪れた BW 銀行の建物紹介の後編。

1. パーティションシステム

ストラーレの最大のセールスポイントは防音。2 重ガラスの壁面システムは UV ボンドという特殊な取り外し可能な接着法でガラスをフレームに取り付ける。ガラスも片側は防音ガラスを使用。パネルの場合は間に防音材が入る。



シンプルで壁のラインが 1 本に揃うところがいい。他社の 2 重ガラスの壁面システムと比べるとごつい感じがあるが、特注を得意としており予算と時間があるとかなりいいものが作れる。



防音性能と洗練されたディテールはまさにドイツ製。 ガラスのとフレームの接着部分はフレームの色に合わせて選べ るのでどうやってガラスがとりつけられているのかが一瞬だとわか らない。

2. スタッフレストラン

スタッフレストランは建物と建物のつなぎにあたる部分にあり、1階のみ。



船底のような形の天井を丸型の光天井でアクセントを つけている。木の角材をストライプ状にならべることで 吸音効果も考慮している。

カラーパレットはいたってシンプルでコンセプトが明快。 機能を重視しつつもすっきりとした素材選びが空間に メリハリをつけている。



シンプルの定番のアントチェア。



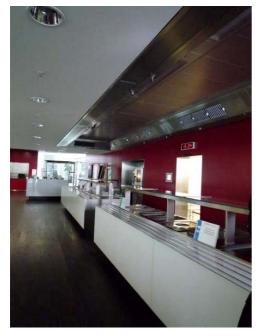
巨大な植木鉢は小柄な人の背丈ほどある。植木は本物。



ゆったりとすごせるソフトシーティングもあり。

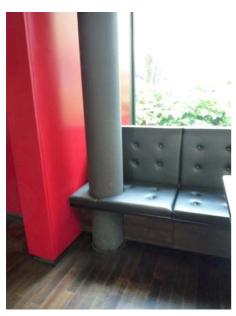


動線が明確で迷いがない。カウンター表面はカラーガラス。





食事が終わったらベルトコンベア式のカウンターにもどす仕組み。







3. グリーン・ルーフ、喫煙スペース





屋上はテラスになっており、休憩時間や昼休みにくつろげるようになっている。 グリーンルーフの間のポケット状の部分は喫煙スペース。









屋根から取った風景。右側と奥のレンガづくりの建物が BW 社のオフィス棟。左側の三角屋根は住宅。

4. オーディトリアム





1階のレセプションを通るとオーディトリアムになている。赤いラッカー仕上げ側がオーディトリアム。右側の壁はカラーガラスでコアを覆っている。



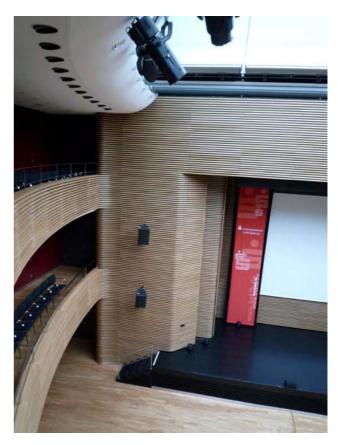


外側の濃い赤とコントラストとなっているのが内部。強い色はなく、木工で覆われている。

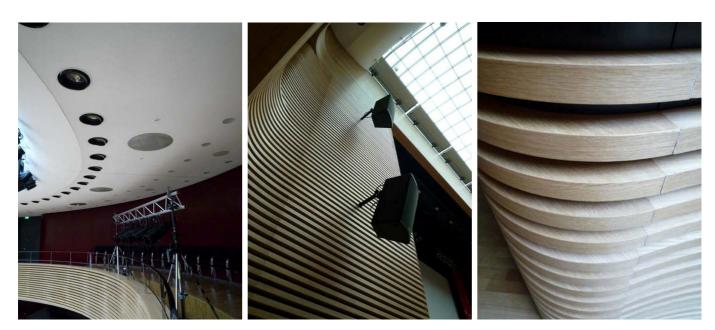


思わず立ち止まってしまうシンメトリーな画。



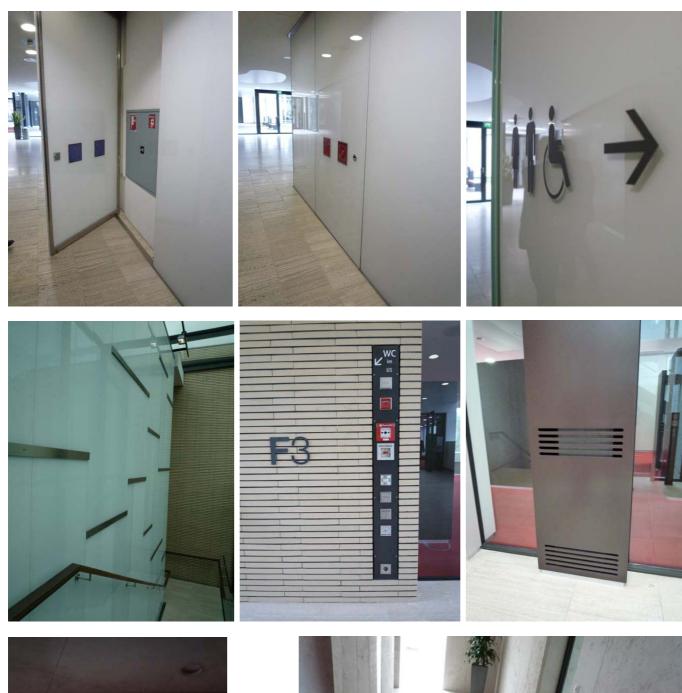


コンサートを開いたりコンフェレンスに使ったりとさまざまな用途で使われているとのこと。



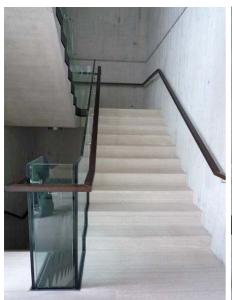
シンプルゆえにディテールとコーディネーションに費やした時間がしのばれる。

すっきり見せるための細かなアイデアがあちこちに詰まっている。ムダにお金を使ったといえばそれまでだが細やかな心配りが設計者としては楽しい。



















大陸のトイレのデザインはとにかく機能的。よくも悪くも無駄がない。

目地もきっちりそろう。



ドイツでは公共の建物、不特定の人間が利用する扉は自動ドアにしなければならないそう。スライド式の自動ドアは敬遠されるらしく、自動ドアはほとんどがスイング式。開閉もスムーズで音も気にならない。